

温室効果ガス排出量の削減目標について「science-based targets（SBT）認定」を取得

2025年08月01日 サステナビリティ

JSR株式会社（代表取締役・CEO・社長執行役員：堀 哲朗）は、当社グループ会社を含めた温室効果ガス削減目標が、国際的な気候変動イニシアチブであるScience Based Targets initiative（SBTi）※1より認定されたことを、お知らせいたします。

以下リンクよりご覧ください。
<https://sciencebasedtargets.org/target-dashboard>



GHG 排出量の削減目標		
区分		目標
Scope1	事業者自らによる GHG の直接排出	2030 年度までに、Scope1 および Scope2 の GHG 排出量を 2023 年度比で 42%削減すること
Scope2	他者から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出	
Scope3	Scope1,Scope2 以外の間接排出(事業者の活動に関連する他社の排出)	2029 年度までに、購入した製品・サービス、資本財、上流の輸送・配送を対象とする排出量ベースで、サプライヤーの 85%が科学的根拠に基づく目標を設定すること

当社は引き続き、「事業活動に伴う環境負荷の低減」を推進し、GHG排出量の削減に取り組んで参ります。

※1 Science Based Targets initiative（SBTi）：CDP、国連グローバル・コンパクト、WRI（世界資源研究所）、WWF（世界自然保護基金）による国際的な共同イニシアチブ

science-based targets（SBT）：パリ協定が求める水準（世界の気温上昇を、産業革命前と比較して2度を十分に下回る水準に抑え、1.5度に抑える努力を追求すること）と整合した、企業が設定するGHG排出量削減目標

